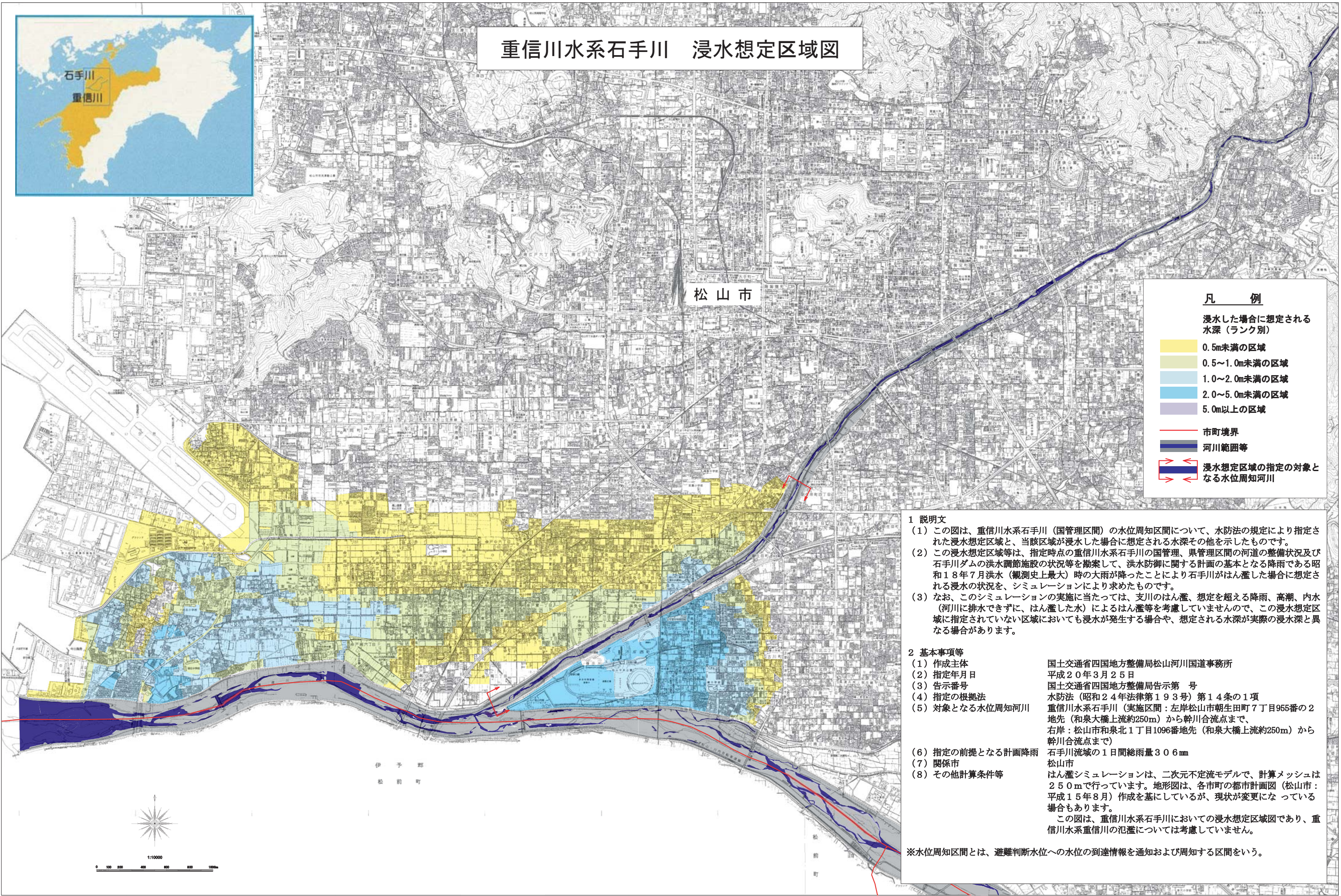


重信川水系石手川 浸水想定区域図



凡 例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
	0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	2.0～5.0m未満の区域
	5.0m以上の区域
	市町境界
	河川範囲等
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1 説明文

(1) この図は、重信川水系石手川（国管理区間）の水位周知区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

(2) この浸水想定区域等は、指定時点の重信川水系石手川の国管理、県管理区間の河道の整備状況及び石手川ダムの洪水調節施設の状況等を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である昭和18年7月洪水（観測史上最大）時の大雨が降ったことにより石手川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川のはん濫、想定を超える降雨、高潮、内水（河川に排水できずに、はん濫した水）によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所
(2) 指定年月日	平成20年3月25日
(3) 告示番号	国土交通省四国地方整備局告示第 号
(4) 指定の根拠法	水防法（昭和24年法律第193号）第14条の1項
(5) 対象となる水位周知河川	重信川水系石手川（実施区間：左岸松山市朝生田町7丁目955番の2地先（和泉大橋上流約250m）から幹川合流点まで、右岸：松山市和泉北1丁目1096番地先（和泉大橋上流約250m）から幹川合流点まで）
(6) 指定の前提となる計画降雨	石手川流域の1日間総雨量306mm
(7) 関係市	松山市
(8) その他計算条件等	はん濫シミュレーションは、二次元不定流モデルで、計算メッシュは250mで行っています。地形図は、各市町の都市計画図（松山市：平成15年8月）作成を基にしているが、現状が変更になっている場合もあります。

この図は、重信川水系石手川における浸水想定区域図であり、重信川水系重信川の氾濫については考慮していません。

※水位周知区間とは、避難判断水位への水位の到達情報を通知および周知する区間をいう。

※この図は、A0版（1/10,000）をA3版に縮小印刷したものです